

フェア・トレードは、SDGs17の目標に直接・間接的にすべてつながっています

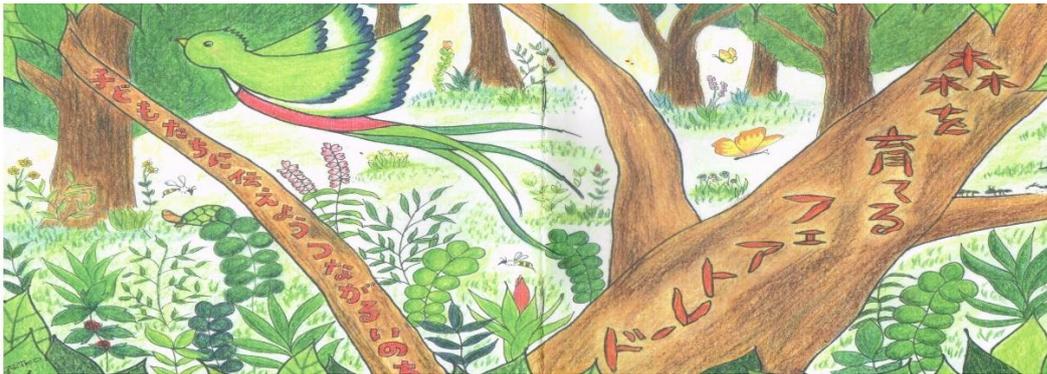
フェア・トレードとは？

・「フェア・トレード(公正貿易)」は、世界経済や流通システムの歪みに寄って貧困に追いやられている途上国の人々を支えるために 1940 年～60 年代によりアメリカ・ヨーロッパで始められました。日本は 1980 年代に始まりました。

・寄附や援助とは異なり、立場の弱い人々が正当な報酬を受け、誇りを取り戻して自立することを共に目指す、対等なパートナーシップによる貿易です。

【特徴】

- 1) 対等なパートナーシップ
 - 2) 公正賃金・安定発注(必要に応じて前金払い)
 - 3) 伝統継承(文化を守る)・情報提供(技術指導含む)
 - 4) 持続可能な生産(無農薬有機栽培など)
- コーヒー・カカオの樹などは森林農法(アグロフォレストリー)による栽培方法で生物多様性の森で育ちます。



持続可能な開発目標(SDGs)とは？

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。[外務省HPより]



国連広報より]